

4/28
早

4回目接種来月末開始へ 60歳以上、持病ある人に

厚労省方針

労省は既に自治体に接種券や会場の準備を求めており、二十八日に自治体の担当者向けの説明会を開く。四回目では接種が先行するイスラエルでの研究結果などを踏まえ、接種目的を重症化予防と位置付ける。これまで通り無料で受けられるが、対象者は六十歳以上と十八歳以上で持病があるか、肥満など感染時の重症化リスクが高いと医師が認める人に限る。

厚生労働省は二十七日、新型コロナウイルスワクチンの四回目接種を五月末にも開始する方針を決めた。六十歳以上と持病のある人などを対象として、三回目接種から五カ月以上の間隔を空ける。国内で新型コロナワクチンはこれまで幅広い年齢層に接種してきたが、四回目からは対象者を一部に絞ることになり、大きな転換となる。

後藤茂之厚労相は二十七日、記者団に「五月末に開始できるよう必要な手続きを進めていく」と述べた。厚